

## 安全データシート

改訂日:2021年2月26日

1. 化学品及び会社情報	
化学品の名称(製品名)	DL-ロイシン
会社名	米山薬品工業株式会社
住所	大阪市中央区道修町2丁目3番11号
電話番号	(06)6231-3555(大阪・本社)
	(03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田)
	(052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)
整理番号	29691
2. 危険有害性の要約	
GHS分類	分類の基準に該当しない。
GHSラベル要素	
絵表示又はシンボル	なし
注意喚起語	なし
危険有害性情報	なし
3. 組成、成分情報	
化学物質・混合物の区別	化学品
化学名又は一般名	DL-ロイシン
別名	—
化学式	C <sub>6</sub> H <sub>13</sub> O <sub>2</sub> N
化学物質を特定できる一般的な番号	CAS RN:328-39-2
濃度又は濃度範囲(含有率)	98.5%以上
官報公示整理番号(化審法/安衛法)	(9)-1632
4. 応急措置	
吸入した場合	気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。
皮膚に付着した場合	皮膚を速やかに洗浄すること。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
	気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
	眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。 医師の手当、診断を受けること
応急処置をするものの保護	該当情報なし。
医師に対する特別な注意事項	該当情報なし。
5. 火災時の措置	
適切な消火剤	粉末、泡、炭酸ガス、水
使ってはならない消火剤	該当情報なし。
火災時の措置に関する特有の危険有害性	該当情報なし。
特有の消火方法	該当情報なし。
消火を行う者の保護	消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
環境に対する注意事項	流出したもの、又は洗浄した水が河川等に排出され、環境への影響を起ささないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	粉塵が飛散しない方法で回収した後、水で十分に洗浄する。
二次災害の防止策	該当情報なし。
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	
技術的対策(局所排気、全体排気)	適切な保護具を着用する。 局所排気、全体換気を行う。
安全取扱い注意事項	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 環境への放出を避けること。
接触回避	強酸化物質
衛生対策	取り扱い後はよく手を洗うこと。
保管	
安全な保管条件	直射日光を避けて、換気の良い涼しい場所に保管する。
安全な容器包装材料	ポリプロピレン、ポリエチレン。
8. 暴露防止及び保護措置	
許容濃度(出典)	

管理濃度	未設定
日本産業衛生学会	未設定
AGGIH	未設定
設備対策	取扱いについては、できるだけ密閉化を行うか、局所排気装置を使用する。
保護具	
呼吸用保護具	適切な呼吸用保護具を着用すること。
手の保護具	適切な保護手袋を着用すること。
眼の保護具	適切な眼の保護具を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣、保護面を着用すること。
特別な注意事項	該当情報なし。
9. 物理的及び化学的性質	
物理状態	結晶性粉末
臭い	白色
融点・凝固点	293°C(分解)
沸点、初留点及び沸騰範囲	該当情報なし。
可燃性	該当情報なし。
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	該当情報なし。
引火点	該当情報なし。
自然発火温度	該当情報なし。
分解温度	293°C
pH	該当情報なし。
動粘性率(粘度)	該当情報なし。
溶解度	2.4g/100g (25°C)
n-オクタノール/水分配係数	該当情報なし。
蒸気圧	該当情報なし。
密度及び/又は相対密度	該当情報なし。
相対ガス密度	該当情報なし。
蒸発速度	該当情報なし。
10. 安定性及び反応性	
反応性	通常の取り扱いに於て安定である。
化学的安定性	通常の取り扱いに於て安定である。
危険有害反応可能性	該当情報なし。
避けるべき条件	日光、高温、多湿、高積。
混触危険物質	強酸化物質
危険有害な分解生成物	該当情報なし。
11. 有害性情報	
急性毒性	該当情報なし。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	該当情報なし。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	該当情報なし。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	該当情報なし。
生殖細胞変異原性	該当情報なし。
発がん性	該当情報なし。
生殖毒性	該当情報なし。
特定標的臓器毒性(単回暴露)	該当情報なし。
特定標的臓器毒性(反復暴露)	該当情報なし。
誤えん有害性	該当情報なし。
12. 環境影響情報	
生態毒性	該当情報なし。
残留性・分解性	該当情報なし。
生体蓄積性	該当情報なし。
土壤中の移動性	該当情報なし。
オゾン層への有害性	当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。
13. 廃棄上の注意	
化学品、汚染容器及び包装の安全でかつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報	産業廃棄物処理認定業者に委託して処理する。
14. 輸送上の注意	
国連番号	—
品名(国連輸送名)	—
国連分類	—
容器等級	—
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実に進行。
国内規制がある場合の規制情報	

陸上輸送  
海上輸送  
航空輸送  
応急措置指針番号

消防法の規定に従う。  
船舶安全法の規定に従う。  
航空法の規定に従う。  
—

## 15. 適用法令

化学物質管理促進法 (PRTR法)  
毒物及び劇物取締法  
労働安全衛生法  
消防法

指定化学物質に該当しない。  
毒物及び劇物に該当しない。  
名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物に該当しない。  
危険物に該当しない。

## 16. その他の情報

引用文献

製品評価技術基盤機構HP

その他

記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。